



チョコレートはいつ買うの!?

皆さん、家計調査を知っていますか？

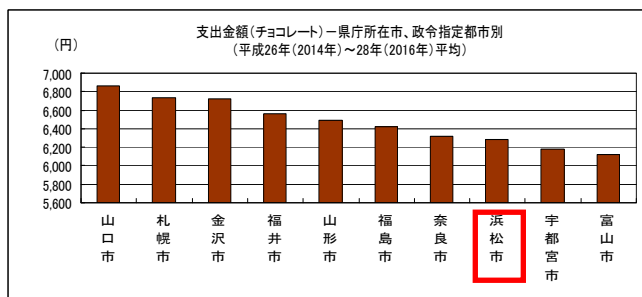
家計調査とは、総務省が毎月実施している重要な統計（基幹統計）の一つで、全国の県庁所在市と政令指定都市から抽出された約 9,000 世帯を対象に、家計の収入、支出、貯蓄、負債などを調査しています。

この調査は、私たちの暮らしに関わる親しみやすい統計データが満載です。

今回はこの調査結果から、月別と日別のデータを使って、支出の様子を見てみましょう。

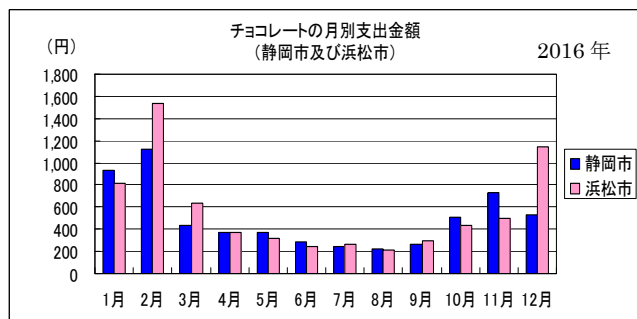
2月14日はバレンタインデーでしたね。お店にはたくさんのチョコレートが並び、お客さんも大勢いました。まず、チョコレートの支出金額からバレンタインデーとの関係性を考えてみます。

下のグラフは、チョコレートの年間支出金額が多い都市を順番に並べたものです。



H26~28の平均を見ると、浜松市におけるチョコレートへの支出金額が、全国で8番目に高いことがわかります。

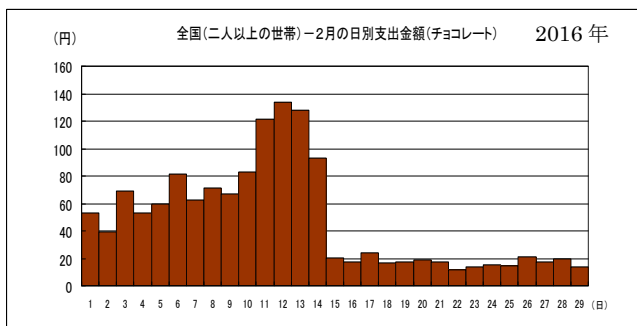
※浜松市の隣には宇都宮市がきていますが、この2市は餃子でも有名ですね。これも家計調査から分かります。



このグラフは、静岡市と浜松市の月別の支出金額を表したものです。

静岡市でも浜松市でも2月に支出が増えているのがよくわかります。

バレンタインデーが関係しているような気がしてきましたね。

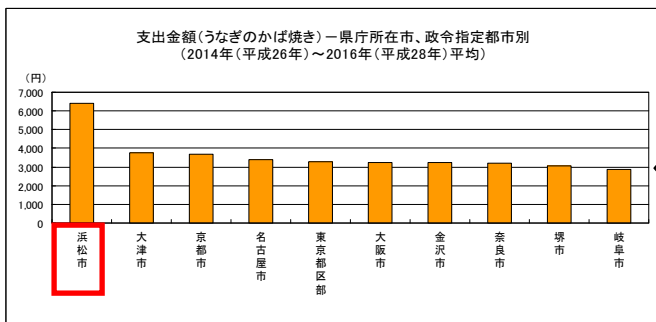


2月の日別支出金額を見ると、1日から徐々に増加し、12日がピークになっています。

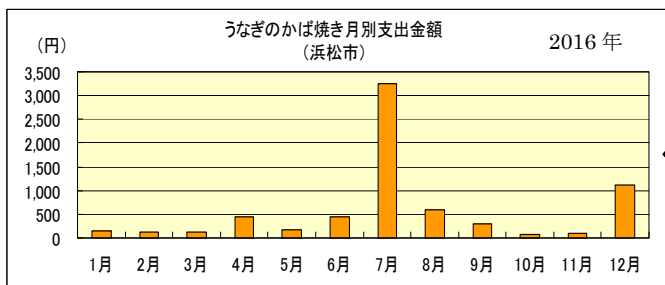
これで、確実にバレンタインデーが関係していることが分かります。意外と、直前に準備する方が多いみたいですね。

このように、特定の日に支出が増えるものはいくつかありますので、今回はもう一つ紹介します。では、静岡県（浜松市）で年間支出金額日本一の「うなぎのかば焼き」を見てみましょう。

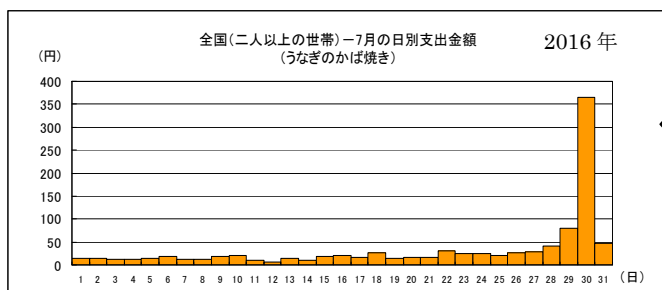




H26～H28 平均の「うなぎのかば焼き」の年間支出金額を表したグラフです。
これを見ると、全国で浜松市の支出金額が最も多いことがわかります。
浜松と言えば、「うなぎ」ですね。



このグラフを見ると、7月の支出金額が多いことがわかります。
これは、何が原因でしょうか？
7月に何かあったようですね。



7月30日の支出が、飛び抜けています。
「うなぎを食べる」と言えば、土用の丑の日ですね。
2016年の土用の丑の日は、7月30日だったんです。

ちなみに、みなさんは、なぜ土用の丑の日とうなぎを食べるようになったか知っていますか？
諸説ありますが、その中の一つを紹介します。

江戸時代の蘭学者平賀源内が、知人のうなぎ屋にうなぎが売れないことを相談され、「本日土用の丑の日」というチラシを貼るようアドバイスをすると繁盛しました。その結果、土用の丑の日にはうなぎを食べるようになったそうです。また、バレンタインも、お菓子業界が仕掛けたとも言われているようです。

皆さんが仕掛けたことも、いつのまにか慣習となり受け継がれるかもしれませんね。
私達の季節ごとの行動が支出金額に表われてくる... 統計データは面白いですね。

～特定の日には支出が増えるもの～

項目	月日	理由
寿司	2月3日	節分
いわし	同上	〃
ビスケット	3月13日	ホワイトデー
カボチャ	12月20日頃	冬至
ケーキ	12月24日	クリスマス
テレビゲーム	12月24日	サンタさんが購入!?
そば、うどん	12月31日	年越し



これら以外にも、特定の日には支出金額の増えるものがあります。ぜひ、調べてみてください。